

NUcross

第6回 研究交流会

奈良県は面積の7割を森林が占め、森林生態系の保全と資源の活用が持続可能な社会・低炭素社会の実現に繋がります。
今回は2名の先生方をお招きし、森林生態系研究の面白さや、森林と共に生きる未来についてお話しいたします。

奈良の
森林
を考える



奈良女子大学 村松 加奈子 教授
(環境科学領域／共生科学研究センター)



陸域観測の人工衛星データから植生が光合成によりどのくらいの炭素を固定しているのかを推定する方法の研究と、航空機による森林のレーザ測量のデータから、樹冠の平均的な高さを推定し林業へどのように利用できるかについて取り組んでいます。

奈良教育大学 辻野 亮 教授
(理科教育講座／自然環境教育センター)



わたしは、樹木の生態やシカ・サルキノコと樹木のかかわり、種多様性と環境要因の関係、人と自然のかかわりなどを研究してきました。これまで屋久島、深泥地湿原（京都市北区）、秋山地域（長野県北部）、大峯山、インドネシア、カンボジアで調査してきました。

「森林を測る」

「森林で探す」

実施日 2024年7月23日(火)
16:30～18:30

場所 奈良女子大学G棟101（対面）

親睦会 18:30～20:00（会費▶教職員3,000円 学生・院生1,000円）
参加申し込み締め切り7/17水曜日（自由参加）

お問合せは

お申込はこちら

奈良国立大学機構 奈良カレッジズ連携推進センター
異分野交流プロジェクト推進専門部会「NUcross」

奈良市北魚屋東町
☎ 0742-20-3411

✉ yamato-class@cc.nara-wu.ac.jp

